

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿
農業資材販売等関係者

福岡県病虫害防除所長

平成17年度病虫害発生予報第11号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成17年度病虫害発生予報第11号(2月)

【野菜】

作物名	病虫害名	発生現況 (平成比)	発生予想 (平成比)
イチゴ	灰色かび病 うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類	少ない やや多い 並 多い	少ない やや多い 並 多い
ナス	うどんこ病 灰色かび病 すすかび病	少ない 並 やや少ない	やや少ない 並 やや少ない
トマト	灰色かび病 葉かび病	並 並	並 並
キュウリ	べと病 うどんこ病 灰色かび病	並 並 やや少ない	並 並 やや少ない
キャベツ	黒腐病 菌核病 コナガ	少ない 少ない 少ない	少ない 少ない 少ない
レタス	菌核病 灰色かび病 腐敗病	やや多い やや多い 並	やや多い やや多い 並
野菜共通	ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	並 並	並 並

1 イチゴのうどんこ病

(1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多い、前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 1月5半旬調査の結果、発病株率は3.0%（平年：2.0%、前年：0.3%）であった。

イ 気象予報では、2月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている（以下の病害虫についても同じ）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 草勢が低下すると発病が助長されるので、適正な肥培管理を行う。

イ ハウスの換気を行い、多湿にならないよう管理する。

ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する（以下の病害虫についても同じ）。

エ 薬剤防除は、使用基準を守り危被害防止に努める（以下の病害虫についても同じ）。

2 イチゴのハダニ類

(1) 予報の内容

発生量：平年より多く、前年並

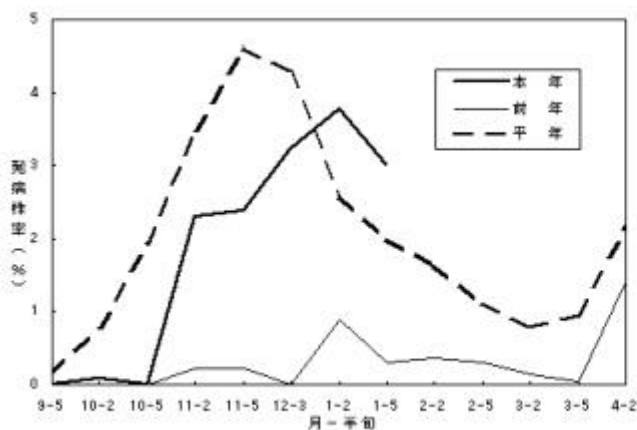
(2) 予報の根拠

1月5半旬調査の結果、寄生株率は10.9%（平年：3.2%、前年：9.3%）であった。

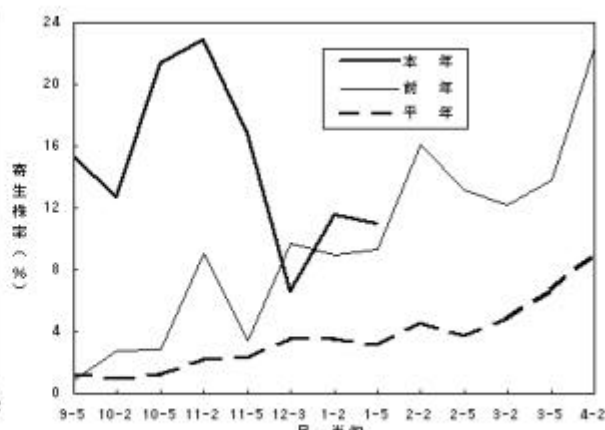
(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発生後は防除が困難となるので、早期発見、早期防除に努める。

イ 寄生した株の葉かぎ後の複葉や抜き取った雑草は、ほ場周辺に放置せず速やかにビニル袋等に入れて密閉し処分する。



イチゴにおけるうどんこ病の発病株率



イチゴにおけるハダニの寄生株率

3 キュウリのべと病

(1) 予報の内容

発生量：平年並、前年よりやや多い

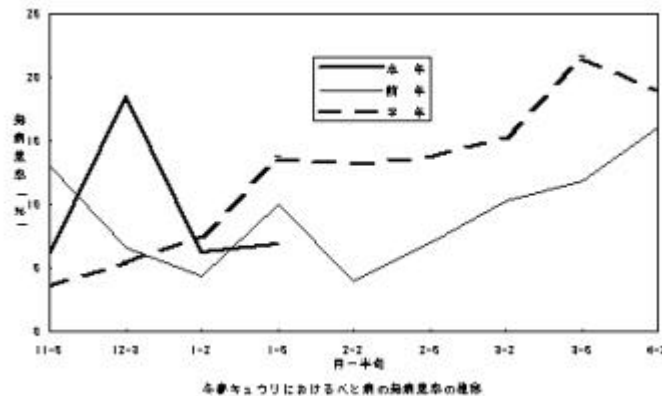
(2) 予報の根拠

ア 1月5半旬調査の結果、発病葉率は6.8%（平年：13.5%、前年：10.0%）であった。

イ 気象予報では、2月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている（以下の病害虫についても同じ）。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 草勢が低下すると発病が助長されるので、適正な肥培管理を行う。
- イ 하우스の換気を行い、多湿にならないよう管理する。
- ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する



4 レタスの菌核病

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

- ア 1月5半旬調査の結果、発病株率は1.5%(平年:0.9%、前年:0.8%)であった。
- イ 気象予報では、2月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されている(以下の病害虫についても同じ)。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 降雨が続くと多湿条件で発生が助長される。トンネル栽培では換気に努め、過湿とならないように管理する。
- イ 発病株は早めに抜き取り、ほ場外に持ち出し処分する。
- ウ 菌核は土中で2~3年は生存し次作の感染源となるので、収穫終了後に残渣を鋤き込まないようにする。

5 レタスの灰色かび病

(1) 予報の内容

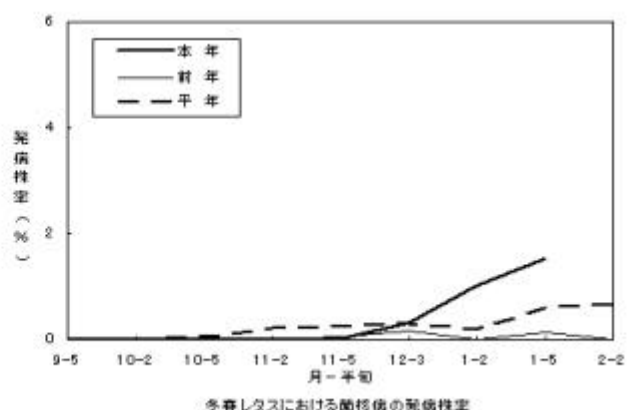
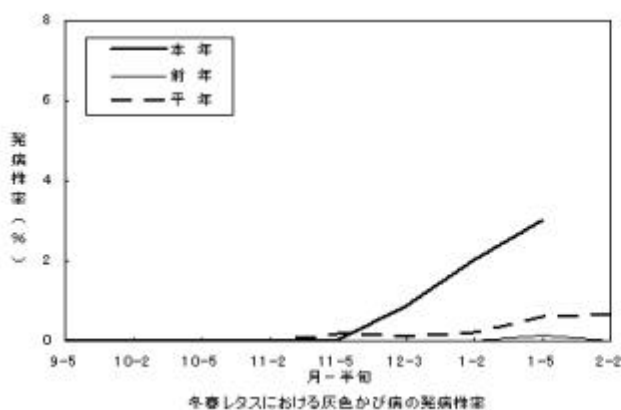
発生量：平年・前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

1月5半旬調査の結果、発病株率は3.0%(平年:0.6%、前年:0.1%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア トンネル栽培では換気に努め、過湿とならないように管理する。
- イ 発病株を放置すると感染源となるので、早めに抜き取りほ場外に持ち出し処分する。



病虫害防除所では、病虫害の発生状況と防除について
ホームページでお知らせしています。

ホームページ <http://www.jpnpn.ne.jp/fukuoka>
電子メール kfok0301@sp.jpnpn.ne.jp

九州北部地方（山口県を含む） 1か月予報

（1月28日から2月27日までの天候見通し）

平成18年1月27日
福岡管区气象台発表

< 予想される向こう1か月の天候 >

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

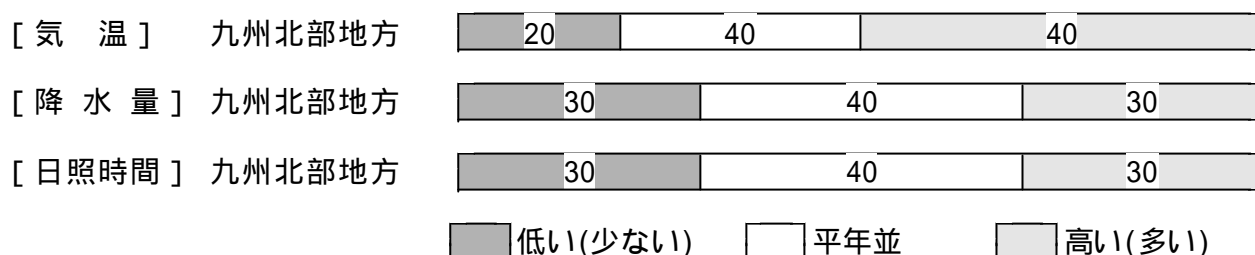
九州北部地方では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

気候の変動が大きいです。

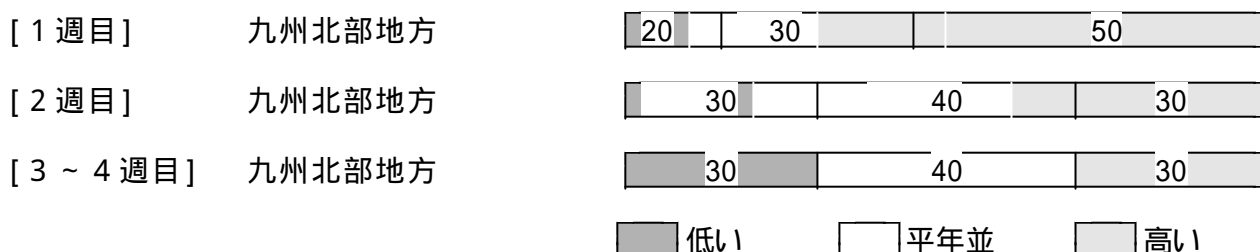
向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。降水量、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は高く、2週目、3～4週目は平年並でしょう。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％） >



< 気温経過の各階級の確率（％） >



< 予報の対象期間 >

1か月 : 1月28日(土) ~ 2月27日(月)
1週目 : 1月28日(土) ~ 2月 3日(金)
2週目 : 2月 4日(土) ~ 2月10日(金)
3～4週目 : 2月11日(土) ~ 2月24日(金)

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月3日
3か月予報：2月23日(木) 14時00分